



南三陸町立歌津中学校

歌津中学校だより

# たつがね



教育目標 志をもち、たくましく未来を拓く生徒の育成

令和4年10月現在：1年29名/2年24名/3年34名 計87名 学級数：3

令和4年10月25日

第16号

文責：伊藤 浩志

## 「歌中祭」開催 テーマ「彩（いろどり）」

10月21日（金）の前日際は、暗くなった校庭に500個をこえる灯籠の灯火が「彩」の文字を浮き上がらせました。そして、10月22日（土）に、「歌中祭」が行われました。生徒会テーマ「彩（いろどり）～新たな可能性～」を歌中祭のテーマとしてオープニングムービーから始まり、吹奏楽部演奏や合唱発表など、あっという間に時間が過ぎていきました。その後の青春祭も大いに盛り上がりました。生徒たちの心のこもった歌中祭になったと思います。



合唱練習から①



合唱練習から②



合唱練習から③



前日の練習から①



前日の練習から②



前日の練習から③



## 共立女子大とのコラボ企画

### 「ホヤを使ったおかずを使用した弁当づくり」

10月28日(金)、歌津中学校の調理室を会場に、共立女子大学の学生と教授をお招きして、「ホヤを使ったおかずを使用した弁当づくり」の調理実習を行う予定です。本校の1年生を対象にした実習で、事前にオンラインでレシピの検討をしたり、試食を行ったりして当日を迎えます。試作には、ポテトチップスころもに代用したホヤの唐揚げやキンパの具にホヤを使用した巻物などそれぞれのグループが趣向を凝らした弁当のおかずが調理されます。それぞれの班の弁当の仕上がりに期待したいと思います。



ホヤの唐揚げ



ホヤ入りキンパ



ホヤ入りマカロニホワイトソース



鳥とホヤのはさみ揚げ



ホヤと海藻のあえもの



調理の様子

## 10 / 4 (火) 「ベロ出しチョンマ」公演

少し前の10月4日(火)、歌津中学校の体育館を会場に、「ベロ出しチョンマ」という芸術鑑賞会が行われました。「Japanese Harp (日本のハープ)」と称される二十絃箏の伴奏に合わせて、バスバリトン歌手の境信博さんがひとりで挑むオペラの世界です。前半はオペラの名曲や日本歌曲を楽しく演奏しました。後半は斉藤隆介原作の「ベロ出しチョンマ」をモノオペラとして上演しました。原作の文章をそのまま曲に乗せて、迫力ある舞台を繰り広げてくれました。山田明美さんの琴のような二十絃箏の演奏もすばらしいものがありました。



## 校舎壁面の改修を行っています

校舎3階と屋上の間の外壁面が剥がれやすい状態になっていることが、検査の結果判明して、その改修工事を行っています。当初よりも大がかりな作業になっています。来週にかけても工事が続く予定ですが、安全面には十分気を付けて行っていますので、ご理解ください。

